

[基本教育科目/人間の理解]

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理と行動	NLA21_001	選択	2	1・2・3・4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
森川 三郎	417	s.morikawa	水曜日 16:10～18:00		
授業の目的・概要	人間のライフステージ毎の心理的発達、感覚・知覚・認知、記憶、言語・知能、思考、動機づけ、学習、性格など心理学の基本的理論について理解する。自分自身の心を眺め、家族や他者との関係について考え、職業生活や社会生活において求められる人間理解と心のケアに関する心理学全般の基礎的な知識や技法を理解することを目的とする。				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、講義中に受け付ける。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。各回の授業終了後にはリアクションペーパーを記載して、学んだ内容を振り返り、自分の知識として言語化(文字化)することが重要である。				
教科書	医療と健康のための心理学/編著：青木智子/出版社：北樹出版/2018				
参考書	系統看護学講座 心理学/著：山村豊/出版社：医学書院/2017				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	人間理解のための心理学的な基本的知識について理解し、説明できる。		HSU(1)(2)、NS(1)		
②	人間理解と心のケアに関する基本的な知識や技法を理解し、説明できる。		HSU(1)(2)、NS(2)		
授業計画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	精神又は心への接近方法を考え、自らの精神的な健康状態について考える。	講義	予習としてテキストの Case1・2 についての感想をまとめておく。	2	
2	「学習及び行動」について概観し、様々な「学習」について学ぶ。	講義	テキスト第1章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
3	「動機・欲求・情動」について概観し、関係する諸理論を学ぶ。	講義	テキスト第2章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
4	「感覚・知覚・認知」について概観し、情報処理のプロセスを学ぶ。	講義	テキスト第3章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
5	「記憶」について概観し、記憶の仕組みと加齢変化を学ぶ。	講義	テキスト第4章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
6	「集団及び対人関係」について概観し、社会心理学的な側面を学ぶ。	講義	テキスト第5章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
7	「人格・性格」について概観し、パーソナリティ障害について学ぶ。	講義	テキスト第6章1節・2節を予習しておく。授業資料を復習する。	3	
8	「心の病」について概観し、精神的な健康・不健康状態を学ぶ。	講義	テキスト第6章3節を予習しておく。授業資料を復習する。	3	
9	「各種心理検査」について概観し、心理アセスメントを学ぶ。	講義	テキスト第6章4節を予習しておく。授業資料を復習する。	3	
10	「生涯発達」について概観し、特に児童期までの発達を学ぶ。	講義	テキスト第7章第8章を予習しておく。授業資料を復習する。	3	
11	「生涯発達」について概観し、青年期・老年期の発達を学ぶ。	講義	テキスト第9章を予習しておく。授業資料を復習する。	3	
12	「発達障害」について概観し、さまざまな発達の形について学ぶ。	講義	テキスト第10章を予習しておく。授業資料を復習する。	3	
13	「心理療法(精神分析療法・来談者中心療法)」の理論と実践について学ぶ。	講義	テキスト第11章1節2節を予習しておく。授業資料を復習する。	3	
14	「心理療法(行動療法・認知療法)」の理論と実践について学ぶ。	講義	テキスト第11章3節4節を予習しておく。授業資料を復習する。	3	
15	これまでのまとめと総括を行い、自らの精神的健康をアセスメントする。	講義	予習としてテキストの Case15・16 の感想をまとめておく。	2	
試	達成度評価・評価のポイントを参照				

[基本教育科目/人間の理解]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		80	20	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
		0	10	0	0	0	10
		評価のポイント					フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	授業終了後に定期試験を実施して評価する。試験内容は、授業全般を通した心理・心・精神に関する基本的な知識の理解のために、択一問題及び正誤問題を出题する。総合的な理解度の確認のためにテーマに関する記述問題を出题する。	試験採点後に、模範解答と試験結果に基づいた分析結果をメール等で学生に配信する。			
	②	✓					
レポート	①	✓	必要に応じて小レポートの提出を求める。授業内容に関して理解したことや疑問に思ったこと、自分の考え等について記述してもらう。	提出された小レポートのコメントについて解説し、質問に答える。			
	②	✓					
成果発表	①						
	②						
ポートフォリオ	①						
	②						
その他	①						
	②						
備考							
<p>教員の実務経験： 精神科看護師として20年以上の経験を有する。</p> <p>実践的授業の内容： 精神科看護師としてのこれまでの専門性と経験を講義に生かしながら学習を進める。</p> <p>○授業時間中に生じた疑問・質問は、その都度対応する。それ以外は、授業終了後か、リアクションペーパーによって行う。また全体に関係する内容については、次回の授業開始時に回答する。個別のものはメール等で回答する。</p> <p>○今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性がある。</p>							